

# 実務経験証明書

下記の者は、 工事に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

年

証明者は、証明しようとする期間内に被証明者が在籍していた法人又は個人事業主を記入する。

許可を受けようとする工事の具体的な業種や工事名を記入する。

建設工事の実務経験をした時の使用者の商号又は名称を記入する。

証 明 者 \_\_\_\_\_ 印

被証明者との関係 \_\_\_\_\_

証明者の立場からみた被証明者(技術者)との関係を記入します。

実際に雇用されていた期間を記入します。

実務経験年数の期間については当初または終わりの1月を切り捨てて計算する。(記載の場合、11月で計算。) ※12月で証明したい場合は、工事経歴書や各工事の契約書等、通年にわたって工事を施工していたことを確認できる資料の添付が必要。

実務経験年数の合計を記入します。

建設工事の実務経験をした時の職名を記入します。

従事した具体的な工事名を記入してください。なお、通年にわたって工事が継続する場合には、その年度の代表的な工事名を記入し、その他の工事は「他〇件」として、1年分を1行にまとめて記入することができます。

技 術 者 の 氏 名	〇〇 〇〇	生年月日	年 月 日	使用された期間	年 月 から	年 月 まで
使用者の商号又は名称	〇〇建設(株)					
職 名	実 務 経 験 の 内 容			実 務 経 験 年 数		
主任技術者	〇〇工事他〇件			〇年4月から ×年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			×年4月から △年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			△年4月から □年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			□年4月から〇〇年 3月まで		
現場代理人	〇〇工事他〇件			〇〇年4月から〇×年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			〇×年4月から〇△年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			〇△年4月から〇□年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			〇□年4月から×〇年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			×〇年4月から××年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			××年4月から×△年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			×△年4月から×□年 3月まで		
"	〇〇工事他〇件			×□年4月から△〇年 3月まで		
				年 月 から 年 月 まで		
				年 月 から 年 月 まで		
				年 月 から 年 月 まで		
使用者の証明を得ることができない場合はその理由				合計	満	〇〇年 〇〇月

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1名について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

(記入例)

- ・〇年〇月事業主死亡のため。
- ・〇年〇月会社解散のため。等

補足

「証明者」とは、この証明書の実務経験期間に使用者であった者をいいます。「証明者」の欄には、所在地・商号又は名称・代表者の氏名を記入し、会社の代表者印を押印します。使用者の証明を得ることができない正当な理由がある場合は、その事実を証明できる他の者の証明を得て、さらに「使用者の証明を得ることができない場合はその理由」欄にその理由を記入します。

※その事実を証明できる他の者とは…当時の取締役本人等。実印をもって証明し、当時の閉鎖登記簿謄本や印鑑証明書が必要。